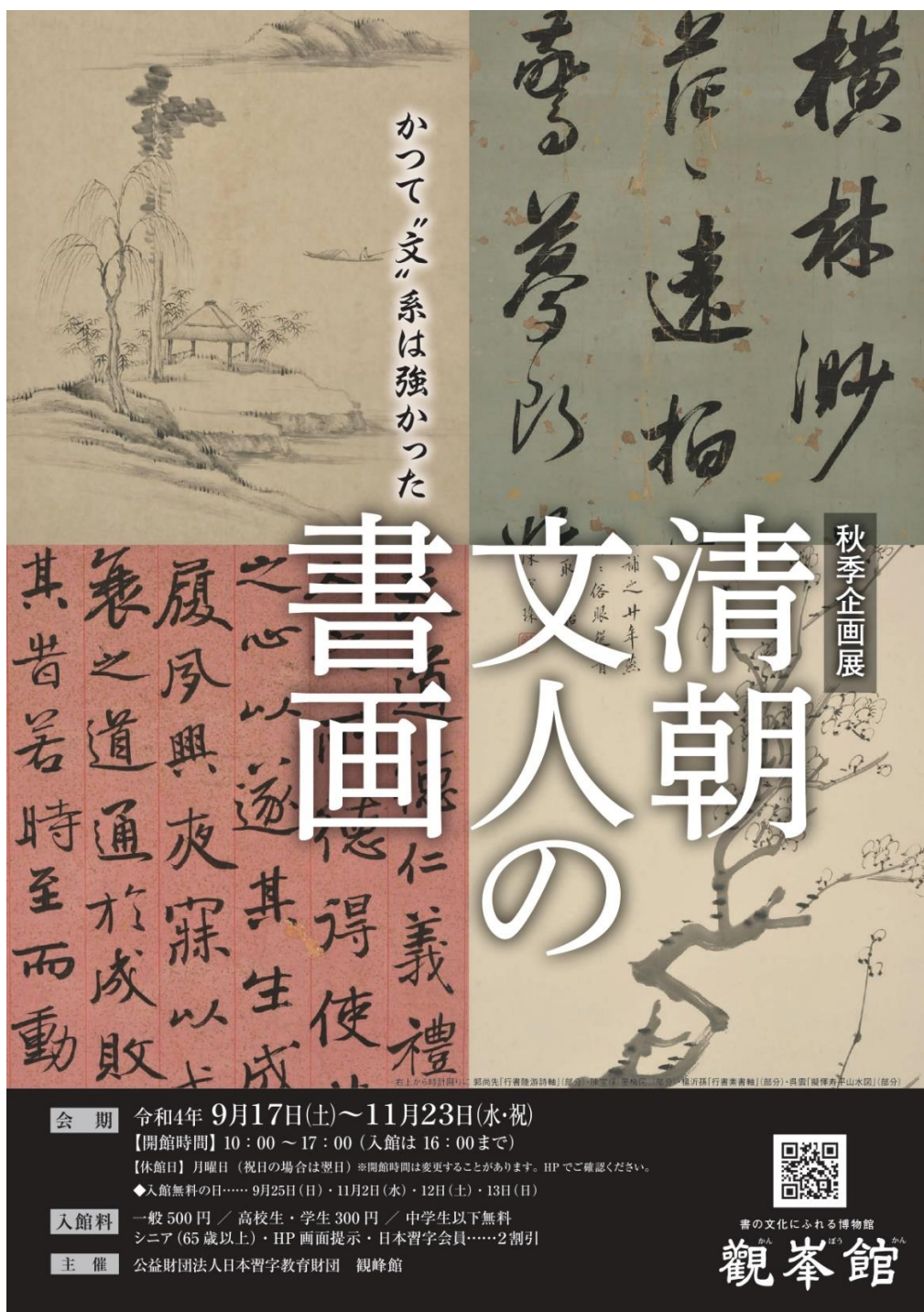


令和4年(2022)9月14日現在

観峰館 令和4年度 秋季企画展

「清朝文人の書画」

開催のお知らせ



かつて「文」系は強かった

秋季企画展

清朝文人の書画

仁義禮
其昔若時至而動

會期 令和4年 9月17日(土)～11月23日(水・祝)
【開館時間】10:00～17:00(入館は16:00まで)
【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)※開館時間を変更することがあります。HPでご確認ください。
◆入館無料の日……9月25日(日)・11月2日(水)・12日(土)・13日(日)

入館料 一般 500円 / 高校生・学生 300円 / 中学生以下無料
シニア(65歳以上)・HP画面提示・日本習字会員……2割引

主催 公益財団法人日本習字教育財団 観峰館

書の文化にふれる博物館
観峰館

会 期：令和4年9月17日(土)～11月23日(水・祝)

時 間：10:00～17:00(入館は16:00まで)

休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)

主 催：公益財団法人日本習字教育財団 観峰館

〈本展の見どころ〉

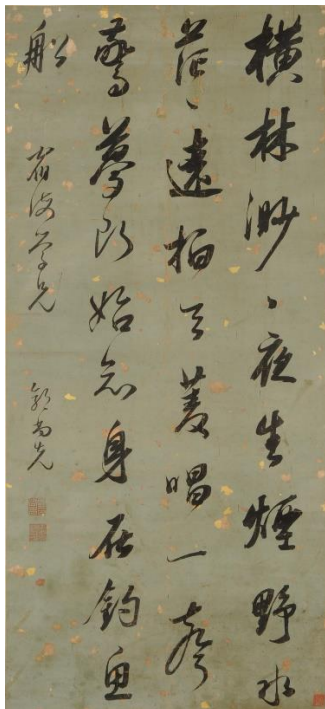
・館蔵中国書画資料から、知識人として文化を牽引した「文人」と呼ばれる人々の書画を選び出し、その魅力に迫ります。

主な展示作品

1. 伝統に立脚した正統派の書家による作品



王文治《行書軸》清時代中期



郭尚先《行書陸游詩軸》清時代中～後期

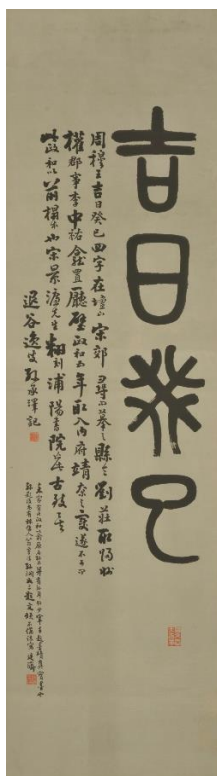


郭尚先《墨蘭図》清時代後期
道光 10 年（1830）

2. 研究成果を反映した学究派の書家による作品



楊沂孫《篆書菜贊四則軸》
清時代後期 光緒 3 年（1877）

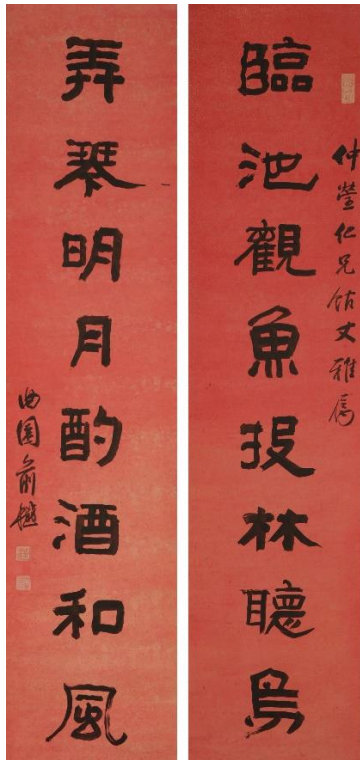


張廷濟《篆書臨檀山刻石軸》清時代中期

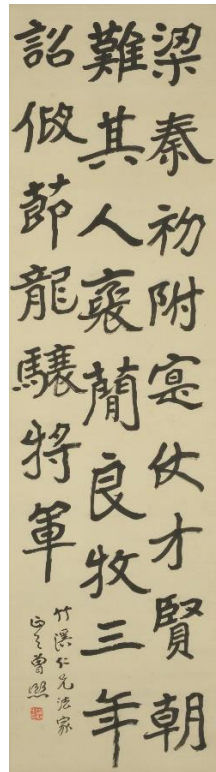


張廷濟《墨梅図》清時代後期

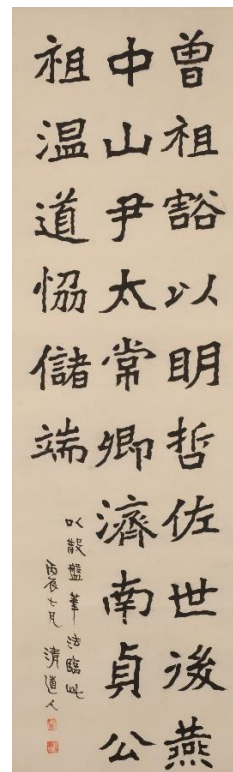
3. 独自の表現を追い求めた個性派の書家による作品



俞樾《楷書八言對聯》清時代後期



曾熙《隸書臨石門頌軸》
清時代末期～中華民国初期頃



李瑞清《楷書臨鄭義下碑軸》
中華民国5年(1916)

関連イベント

秋季展の内容にあわせ、下記のイベントを行います。

※関連イベントは、新型コロナウイルスの拡大状況により延期／中止する場合があります。

最新情報をホームページでご確認下さい。

①文人茶席－雅集の宴－

煎茶美風流四世家元／水墨画家の中谷美風（なかにびふう）氏による「雅集の宴」を開催します。琴を聴き、茶を楽しみ、そして筆を手に交わり遊ぶ、古の文人たちが楽しんでいた宴の姿を再現する催しです。

日 時：9月23日（金・祝）／11月20日（日）

10：00～16：00（1席30分程度／入れ替え開催）

出 演：中谷美風氏（揮毫席／茶席）

伏見无家（ふしみむか）氏（古琴演奏）

楊曉茜（ようぎょうせん）氏（茶席）

参加費：入館料（一般500円）が必要です。



中谷美風氏

※茶席／古琴演奏の実施時間については、観峰館ホームページ「イベント・講座」よりご確認ください。

▼9月23日（金・祝）

<https://kampokan.com/event/2022/09/bunzin-tyaseki-1/>

▼11月20日（日）

<https://kampokan.com/event/2022/11/bunzin-tyaseki-2/>

②土曜講座

1 「文人とは何か」

日 時：10月1日（土）13時30分～14時30分

担 当：瀬川 敬也（観峰館 学芸員）

参加費：入館料（一般 500 円）が必要です。

定 員：20 名（要予約）

2 「文人書画の系譜」

日 時：11月19日（土）13時30分～14時30分

担 当：瀬川 敬也（観峰館 学芸員）

参加費：入館料（一般 500 円）が必要です。

定 員：20 名（要予約）

③ギャラリートーク&ミニコンサート

日 時：2022年10月16日（日）13時30分～15時00分

演奏者：沈 佳（シェン・ジャー）氏（二胡奏者）

参加費：入館料（一般 500 円）が必要です。

定 員：30 名（要予約）



沈 佳（シェン・ジャー）氏

④アンティークオルゴール鑑賞会

日 時：2022年9月25日（日）14時30分～15時30分

参加費：無料

定 員：30 名（要予約）

同時開催（秋季平常展）

史実と伝承

—学制公布 150 年記念展—

会 場：本館 4 階展示室

概 要：江戸時代の歴史書と、学制公布以後の教科書、錦絵等を展示します。



菊池容斎《前賢故実》江戸時代
天保7年（1843）序より「厩戸皇子」

なんだか、かわいい、中国絵画。

会 場：本館 5 階展示室

概 要：小さな動物や鳥などを描いた中国絵画をご紹介します。



汪彦份《花鳥図》清時代後期

～「書の文化にふれる博物館」 観峰館について～



観峰館は「書の文化にふれる博物館」として、公益財団法人日本習字教育財団が、書道文化の普及を目的に運営する博物館です。主な収蔵品は、日本習字創立者の原田観峰（1911～1995）が情熱を傾けて収集した2万5千点におよぶ中国近現代書画や碑版法帖のほか、日本の書画や和本類など、書の文化を理解する上で非常に貴重なものです。



本館 1 階展示室



たんぼうけいせいでん
「澹泊敬誠殿」復元展示

常設展示では、清朝の康熙皇帝（1654～1722）が揮毫した扁額が掛かる離宮内部を再現した「避暑山莊展示室」ほか、実際に拓本の採拓ができる「復元石碑」、書体の変遷を紹介する「書の歴史」などで中国書法文化を紹介しています。

新館特別展示室では、多彩な企画展を開催します。また中国建築風のギャラリー「書院展示室」や欧米資料を集めた「西洋アンティーク室」など見どころが満載です。

観峰館 概要

名 称 ：観峰館

運営母体：公益財団法人 日本習字教育財団

住 所 ：〒529-1421 滋賀県東近江市五個荘竜田町 136

電話番号：0748-48-4141（FAX：0748-48-5475）

ホームページ：<https://kampokan.com/>

アクセス情報

①電車・バスをご利用の場合

JR 琵琶湖線「能登川」駅下車

→近江鉄道バス（八日市駅行き）で
「金堂竜田口」下車→徒歩約 15 分
（全所要時間約 25 分）

②お車（名神高速）をご利用の場合

- ・名古屋方面 / 彦根 IC から国道 8 号で
南西（大津方面）へ約 16 キロ
- ・大阪方面 / 竜王 IC から国道 8 号で
北東（彦根方面）へ約 16 キロ

③タクシーをご利用の場合

JR 琵琶湖線「能登川」駅

東口タクシー乗り場から乗車

約 10 分（2,200 円程度）

※運転手さんに「観峰館裏門（国道の反対側の入り口）まで」とお伝えください。



本展に関するお問い合わせ

公益財団法人日本習字教育財団 観峰館
〒529-1421 滋賀県東近江市五個荘竜田町 136
TEL：0748-48-4141／FAX：0748-48-5475
Email：kampokan@nihon-shuji.or.jp

展示担当者：瀬川 敬也（観峰館 学芸員）